

米に関するマンスリーレポート

(平成25年1月11日公表)

【本資料の目的】

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 「米に関するマンスリーレポート」は、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。
2. 本レポートは、原則として公表2営業日前までの公表資料を反映しています。
3. 本資料に関する問い合わせ先

生産局農産部農産企画課
担当者：岩井、村松、鬼海
代表：03-3502-8111（内線4975）
ダイヤルイン：03-6738-8973
FAX：03-6738-8976

目 次

I	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成24年12月）	1
II	集出荷・卸段階の動向	
	（1）相対取引価格・数量	6
	① 相対取引価格（主な産地銘柄別、平成24年11月）	
	② 相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成24年産米）	
	③ 相対取引価格（年産別）	
	④ 相対取引数量（累積数量、主な産地銘柄別、平成24年11月）	
	（2）民間在庫の推移	9
	① 出荷段階	
	② 販売段階	
	（3）米の先物取引価格の推移	11
	（4）業者間取引の状況	12
	① 日本コメ市場（随時取引の結果）	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）	
	（5）(株)加工用米取引センターの取引結果	13
III	小売・消費段階の動向	
	（1）消費者物価指数の推移	14
	（2）小売物価統計の推移	15
	（3）小売価格の推移（POSデータ）	16
	（4）購入数量の推移（家計調査）	17
	（5）米の消費動向（米穀機構による調査）	18
IV	生産段階の動向	
	（1）国産米（水稻）の作況・収穫量	22
	（2）平成24年産水陸稲の収穫量	22
	（3）加工用米及び新規需要米の取組状況	24
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	（4）水稻うるち玄米の検査結果	25
	① 検査数量及び等級比率（年産別）	
	② 水稻うるち玄米の1等比率の推移	
V	民間流通における6月末在庫の推移	26
VI	備蓄米及びMA米の動向	
	（1）国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量	27
	① 24年産国内産米穀の政府買入入札の結果	
	② 国内産備蓄米の売渡数量	
	③ 政府備蓄米の在庫の状況（平成24年6月末現在）	
	④ 23年産米の特別隔離対策等による米の供給減少分の代替供給量	
	（2）MA米（一般・SBS）の動向	29
	① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	
	② 一般輸入米（加工原材料用）の販売状況（平成24年度）	
	③ SBS米の販売状況（平成24年度）	

I 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成24年12月)

○ 米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDIとして算出したものである(詳細はP5)を参照。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア) 現状判断DI

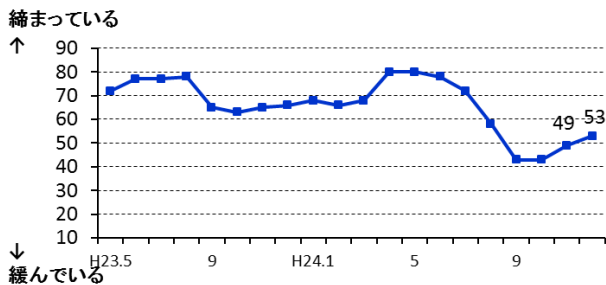
前月からの増減 +4 (今月の数値 53)

(イ) 見通し判断DI(向こう3ヶ月)

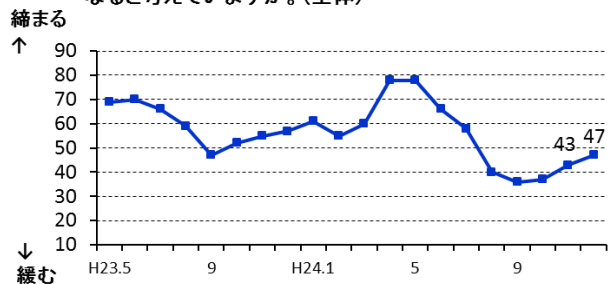
前月からの増減 +4 (今月の数値 47)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

①-ア 国内の主食用米の“現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア) 現状判断DI

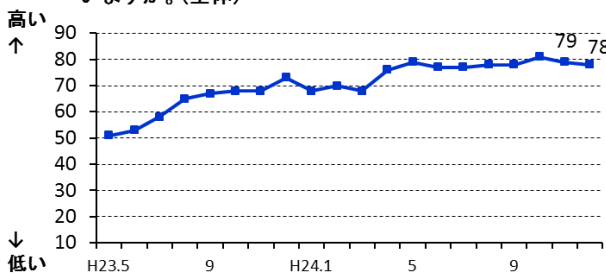
前月からの増減 -1 (今月の数値 78)

(イ) 見通し判断DI(向こう3ヶ月)

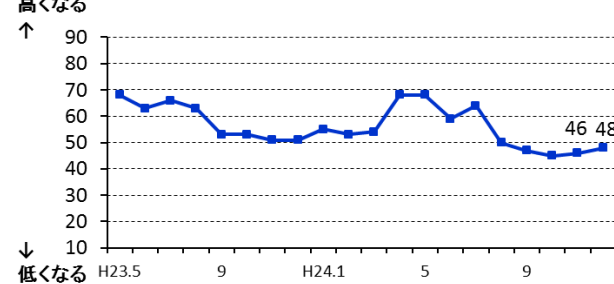
前月からの増減 +2 (今月の数値 48)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、米価水準が高い/米価水準が高くなるという見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、米価水準が低い/米価水準が低くなるという見方が前月より強くなった傾向を示す。

②-ア 国内の主食用米の“現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H23.5	3%	33%	12%	-	17%	7%	28%
H23.6	5%	38%	8%	-	20%	8%	20%
H23.7	7%	34%	11%	-	12%	8%	28%
H23.8	14%	28%	7%	-	19%	7%	25%
H23.9	22%	23%	4%	-	23%	7%	21%
H23.10	22%	23%	3%	-	27%	6%	19%
H23.11	14%	18%	3%	-	34%	10%	21%
H23.12	8%	11%	2%	46%	22%	3%	8%
H24.1	6%	14%	3%	48%	19%	2%	8%
H24.2	4%	17%	2%	48%	20%	3%	6%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H24.3	2%	14%	4%	54%	18%	2%	6%
H24.4	2%	9%	2%	69%	8%	5%	6%
H24.5	2%	13%	4%	66%	8%	4%	2%
H24.6	1%	15%	3%	61%	9%	6%	6%
H24.7	4%	22%	1%	62%	3%	3%	5%
H24.8	20%	10%	2%	46%	12%	3%	6%
H24.9	30%	4%	0%	44%	11%	4%	6%
H24.10	20%	10%	3%	40%	19%	6%	2%
H24.11	11%	11%	3%	49%	16%	7%	3%
H24.12	9%	11%	2%	51%	17%	5%	5%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態毎)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

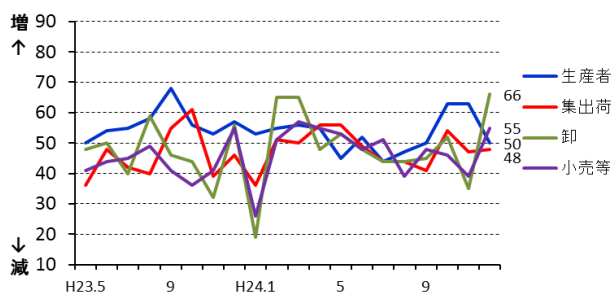
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-13	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	+1	(今月の数値	48)
卸：前月からの増減	+31	(今月の数値	66)
小売等：前月からの増減	+16	(今月の数値	55)

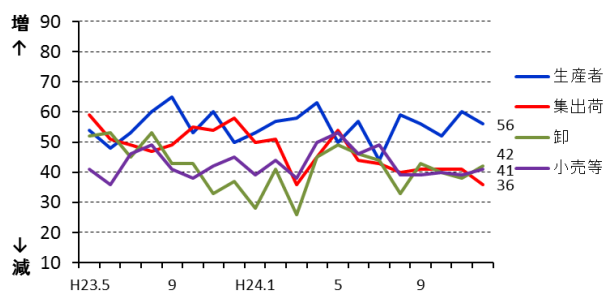
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-4	(今月の数値	56)
集出荷：前月からの増減	-5	(今月の数値	36)
卸：前月からの増減	+4	(今月の数値	42)
小売等：前月からの増減	+2	(今月の数値	41)

①-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

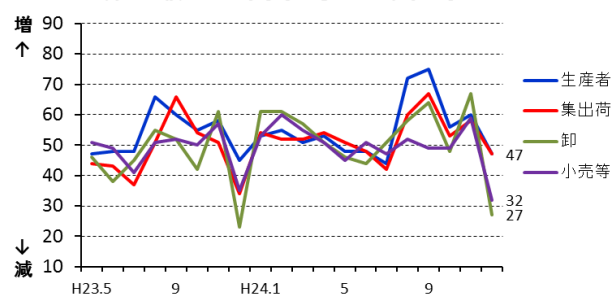
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	-13	(今月の数値	47)
集出荷：前月からの増減	-11	(今月の数値	47)
卸：前月からの増減	-40	(今月の数値	27)
小売等：前月からの増減	-27	(今月の数値	32)

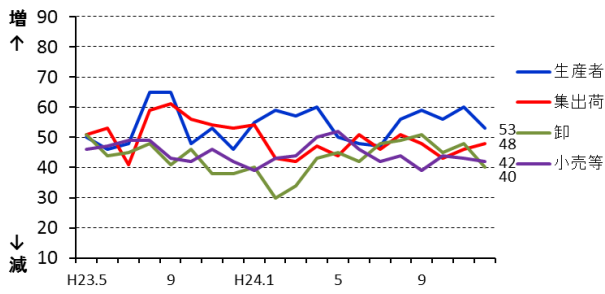
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	-7	(今月の数値	53)
集出荷：前月からの増減	+2	(今月の数値	48)
卸：前月からの増減	-8	(今月の数値	40)
小売等：前月からの増減	-1	(今月の数値	42)

①-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

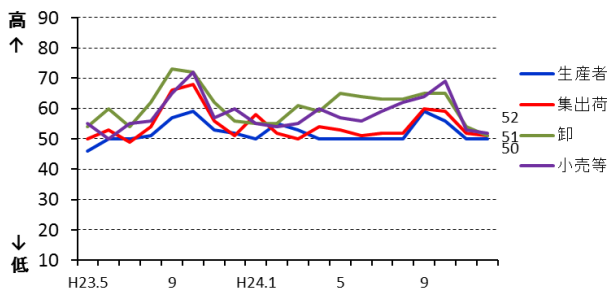
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	± 0	(今月の数値	5 0)
集出荷：前月からの増減	- 1	(今月の数値	5 1)
卸：前月からの増減	- 3	(今月の数値	5 1)
小売等：前月からの増減	- 1	(今月の数値	5 2)

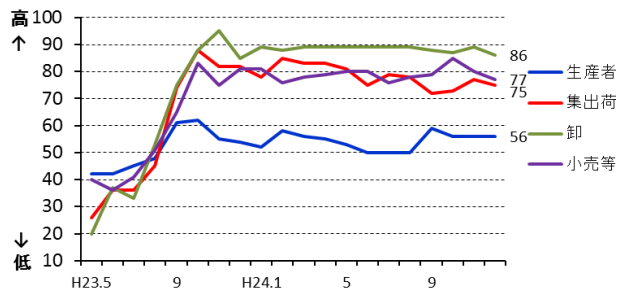
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	± 0	(今月の数値	5 6)
集出荷：前月からの増減	- 2	(今月の数値	7 5)
卸：前月からの増減	- 3	(今月の数値	8 6)
小売等：前月からの増減	- 3	(今月の数値	7 7)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

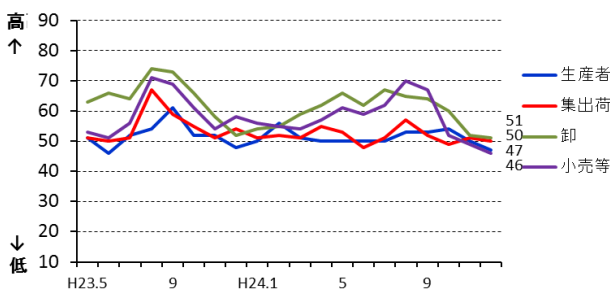
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	- 3	(今月の数値	4 7)
集出荷：前月からの増減	- 1	(今月の数値	5 0)
卸：前月からの増減	- 1	(今月の数値	5 1)
小売等：前月からの増減	- 3	(今月の数値	4 6)

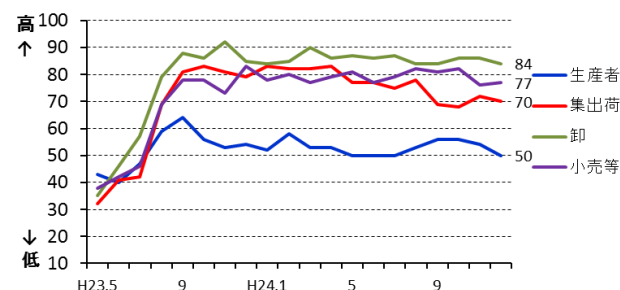
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 4	(今月の数値	5 0)
集出荷：前月からの増減	- 2	(今月の数値	7 0)
卸：前月からの増減	- 2	(今月の数値	8 4)
小売等：前月からの増減	+ 1	(今月の数値	7 7)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

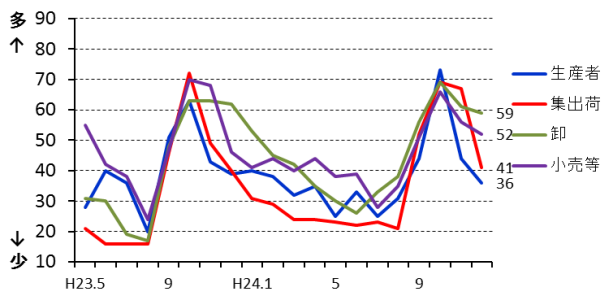
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	- 8	(今月の数値	36)
集出荷：前月からの増減	- 26	(今月の数値	41)
卸：前月からの増減	- 2	(今月の数値	59)
小売等：前月からの増減	- 4	(今月の数値	52)

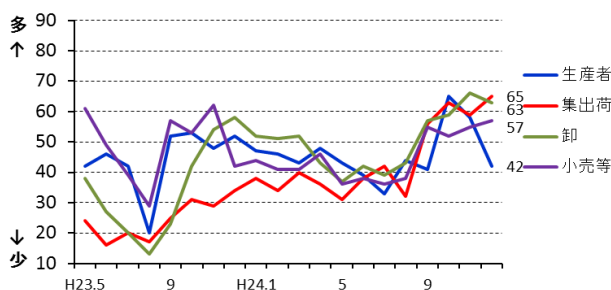
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 16	(今月の数値	42)
集出荷：前月からの増減	+ 6	(今月の数値	65)
卸：前月からの増減	- 3	(今月の数値	63)
小売等：前月からの増減	+ 2	(今月の数値	57)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

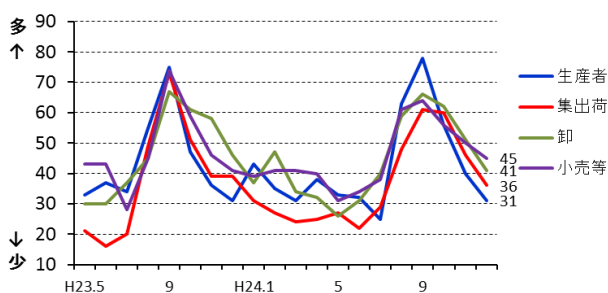
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	- 9	(今月の数値	31)
集出荷：前月からの増減	- 10	(今月の数値	36)
卸：前月からの増減	- 10	(今月の数値	41)
小売等：前月からの増減	- 5	(今月の数値	45)

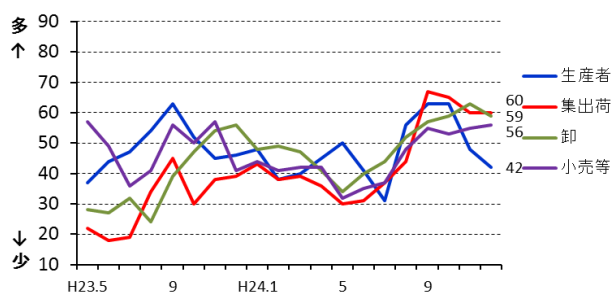
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	- 6	(今月の数値	42)
集出荷：前月からの増減	± 0	(今月の数値	60)
卸：前月からの増減	- 4	(今月の数値	59)
小売等：前月からの増減	+ 1	(今月の数値	56)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の154客体

○有効回答数：126客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・33
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・31
- 小売業者／中食・外食関係業者・・35
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

※「その他」は以下の業者を示している。
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しないことがある。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではない。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが算出されることに注意が必要である。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

Ⅱ 集出荷・卸段階の動向

(1) 相対取引価格・数量

① 相対取引価格(平成24年産米の主な産地銘柄別、平成24年11月)(速報)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	(地域区分)	24年11月 ①	【参考】			
				24年10月 ②	対前月比 ①/②	23年11月 (23年産) ③	対前年 同期比 ①/③
北海道	北海道	きらら397	15,351	15,350	(100%)	13,904	(110%)
	北海道	ななつぼし	15,414	15,383	(100%)	13,880	(111%)
東北	青森	つがるロマン	15,512	15,579	(100%)	13,433	(115%)
	青森	まっしぐら	15,152	15,357	(99%)	13,341	(114%)
	岩手	ひとめぼれ	15,926	15,893	(100%)	14,346	(111%)
	岩手	あきたこまち	15,947	15,858	(101%)	14,315	(111%)
	宮城	ひとめぼれ	16,203	16,413	(99%)	14,654	(111%)
	宮城	ササニシキ	16,717	16,623	(101%)	14,813	(113%)
	秋田	あきたこまち	16,808	16,942	(99%)	15,381	(109%)
	山形	はえぬき	16,144	16,302	(99%)	14,503	(111%)
	福島	コシヒカリ	17,090	17,831	(96%)	16,003	(107%)
	福島	コシヒカリ	15,976	—	—	14,285	(112%)
	福島	コシヒカリ	—	—	—	—	—
福島	ひとめぼれ	15,607	15,781	(99%)	13,671	(114%)	
関東・東山	茨城	コシヒカリ	16,638	16,432	(101%)	15,821	(105%)
	栃木	コシヒカリ	16,773	16,958	(99%)	15,579	(108%)
	埼玉	彩のかがやき	—	—	—	14,165	—
	千葉	コシヒカリ	16,895	16,864	(100%)	15,940	(106%)
	長野	コシヒカリ	16,647	16,544	(101%)	15,899	(105%)
北陸	新潟	コシヒカリ	18,523	18,490	(100%)	18,178	(102%)
	新潟	コシヒカリ	24,046	24,021	(100%)	23,111	(104%)
	新潟	コシヒカリ	—	18,859	—	18,724	—
	新潟	コシヒカリ	—	18,844	—	18,620	—
	富山	コシヒカリ	16,982	17,071	(99%)	16,239	(105%)
	石川	コシヒカリ	16,867	16,900	(100%)	16,092	(105%)
	福井	コシヒカリ	17,026	17,135	(99%)	16,036	(106%)
	福井	ハナエチゼン	—	15,966	—	—	—
東海・近畿	三重	コシヒカリ	16,862	—	—	15,941	(106%)
	滋賀	コシヒカリ	17,142	17,748	(97%)	15,855	(108%)
	滋賀	キヌヒカリ	15,912	—	—	15,105	(105%)
	兵庫	コシヒカリ	—	17,061	—	15,803	—
中国・四国	鳥取	コシヒカリ	16,582	—	—	—	—
	島根	コシヒカリ	16,851	17,249	(98%)	15,732	(107%)
	広島	コシヒカリ	16,375	16,464	(99%)	15,112	(108%)
	山口	コシヒカリ	—	16,909	—	—	—
	徳島	コシヒカリ	17,279	—	—	14,621	(118%)
	香川	ヒノヒカリ	—	—	—	14,573	—
九州	高知	コシヒカリ	—	—	—	—	—
	福岡	ヒノヒカリ	15,955	16,113	(99%)	14,710	(108%)
	佐賀	夢しずく	—	15,810	—	14,490	—
	熊本	ヒノヒカリ	—	16,776	—	—	—
	大分	ヒノヒカリ	16,444	16,711	(98%)	—	—
	宮崎	コシヒカリ	18,587	—	—	—	—
	鹿児島	ヒノヒカリ	—	—	—	—	—
全銘柄平均価格			16,518	16,579	(99.6%)	15,178	(109%)

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1: 相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2: また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3: 産地銘柄は、報告対象産地銘柄のうち、23年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。

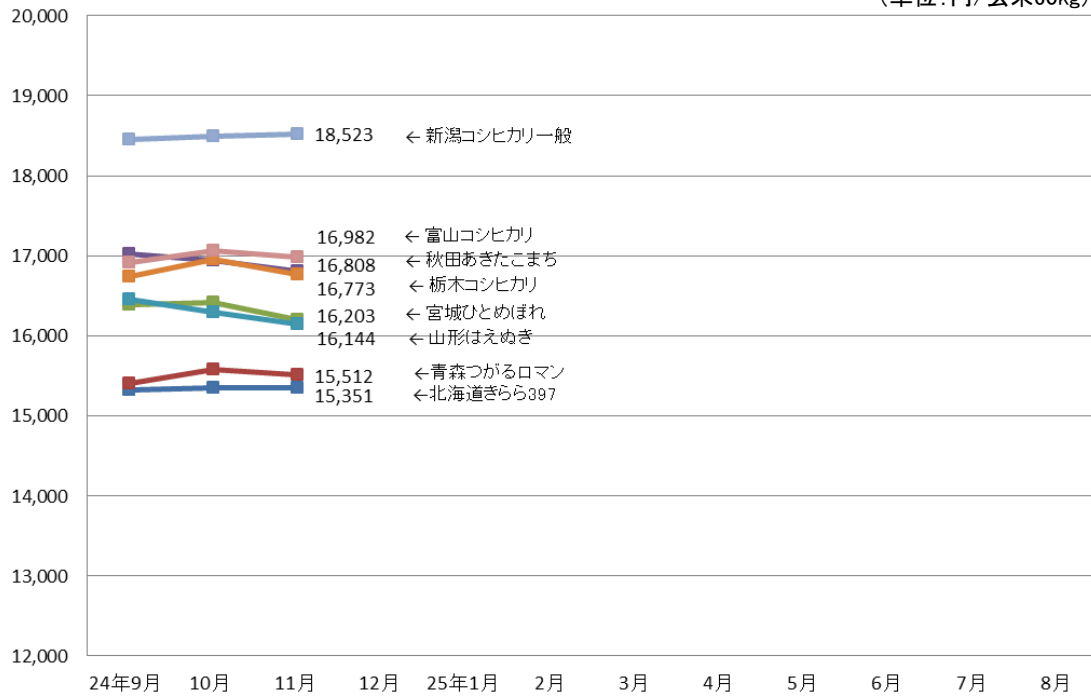
4: 全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5: 23年11月は23年産の価格である。

6: 24年産については速報値である。

② 相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成24年産米）

（単位：円/玄米60kg）

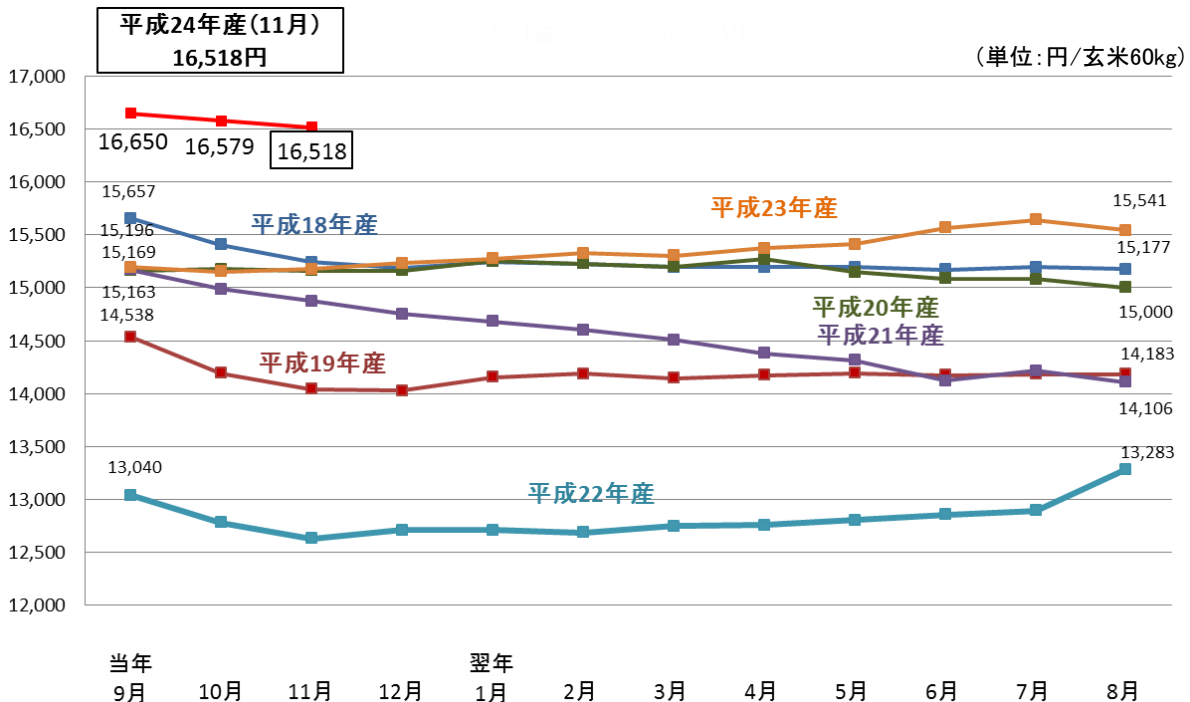


資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：相対取引価格に関する留意点については、6ページの注を参照。

注2：月間の取引量が1,000トン未満となった産地銘柄については、当該月の価格は上表に掲載していない。

③ 相対取引価格（年産別）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：相対取引価格に関する留意点については、6ページの注を参照。

④ 相対取引数量

(累積数量、平成24年産米の主な産地銘柄別、平成24年11月)(速報)

(単位：玄米トン)

産地	品種銘柄 (地域区分)	24年産 (24年11月まで)	(前年比)	(前々年比)	23年産 (23年11月まで)	22年産 (22年11月まで)		
		①	①/②	①/③	②	③		
北海道	北海道	きらら397	89,315	(191%)	(540%)	46,770	16,552	
	北海道	ななつぼし	119,636	(147%)	(468%)	81,273	25,553	
東北	青森	つがるロマン	14,849	(120%)	(174%)	12,423	8,521	
	青森	まっしぐら	33,372	(130%)	(702%)	25,720	4,756	
	岩手	ひとめぼれ	68,312	(111%)	(343%)	61,705	19,898	
	岩手	あきたこまち	14,006	(104%)	(233%)	13,413	6,000	
	宮城	ひとめぼれ	83,487	(149%)	(502%)	56,149	16,646	
	宮城	ササニシキ	4,437	(112%)	(173%)	3,972	2,572	
	秋田	あきたこまち	34,406	(46%)	(96%)	74,349	35,710	
	山形	はえぬき	18,772	(63%)	(108%)	29,641	17,414	
	福島	コシヒカリ	会津	3,711	(105%)	(38%)	3,541	9,794
	福島	コシヒカリ	中通り	5,489	(86%)	(60%)	6,418	9,170
	福島	コシヒカリ	浜通り	68	(133%)	(2%)	51	3,713
	福島	ひとめぼれ		6,299	(127%)	(61%)	4,962	10,368
関東・東山	茨城	コシヒカリ	19,692	(119%)	(160%)	16,503	12,273	
	栃木	コシヒカリ	20,550	(77%)	(123%)	26,640	16,689	
	埼玉	彩のかがやき	1,523	(42%)	(1348%)	3,605	113	
	千葉	コシヒカリ	29,316	(158%)	(205%)	18,543	14,295	
	長野	コシヒカリ	13,136	(80%)	(149%)	16,418	8,837	
北陸	新潟	コシヒカリ	一般	26,345	(40%)	(74%)	65,882	35,516
	新潟	コシヒカリ	魚沼	5,827	(46%)	(97%)	12,731	5,984
	新潟	コシヒカリ	佐渡	4,110	(39%)	(78%)	10,602	5,247
	新潟	コシヒカリ	岩船	3,005	(38%)	(55%)	7,919	5,459
	富山	コシヒカリ		42,562	(95%)	(213%)	44,815	19,939
	石川	コシヒカリ		4,967	(69%)	(269%)	7,207	1,847
	福井	コシヒカリ		8,656	(81%)	(96%)	10,683	9,002
	福井	ハナエチゼン		12,171	(145%)	(144%)	8,395	8,461
東海・近畿	三重	コシヒカリ	一般	5,014	(47%)	(138%)	10,714	3,626
	滋賀	コシヒカリ		10,913	(110%)	(165%)	9,946	6,604
	滋賀	キヌヒカリ		4,949	(115%)	(198%)	4,291	2,497
	兵庫	コシヒカリ		3,153	(69%)	(78%)	4,601	4,038
中国・四国	鳥取	コシヒカリ		2,164	(75%)	(44%)	2,883	4,897
	島根	コシヒカリ		8,274	(94%)	(118%)	8,845	7,036
	広島	コシヒカリ		4,612	(104%)	(41%)	4,453	11,160
	山口	コシヒカリ		3,614	(75%)	(72%)	4,835	4,994
	徳島	コシヒカリ		8,331	(105%)	(125%)	7,927	6,644
	香川	ヒノヒカリ		1,549	(78%)	(133%)	1,989	1,166
	高知	コシヒカリ		3,591	(87%)	(121%)	4,112	2,978
九州	福岡	ヒノヒカリ		5,865	(113%)	(296%)	5,196	1,979
	佐賀	夢しずく		3,153	(90%)	(160%)	3,512	1,973
	熊本	ヒノヒカリ		2,083	(109%)	(180%)	1,903	1,160
	大分	ヒノヒカリ		2,566	(156%)	(225%)	1,645	1,143
	宮崎	コシヒカリ		8,152	(132%)	(136%)	6,176	6,002
	鹿児島	ヒノヒカリ		997	(61%)	(441%)	1,641	226
全銘柄合計契約数量			948,797	(97%)	(188%)	976,159	504,057	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：相対取引数量は、ア 全国団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)を行った数量である。
 なお、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本の産地銘柄)については受渡地を西日本としているものを対象としている。

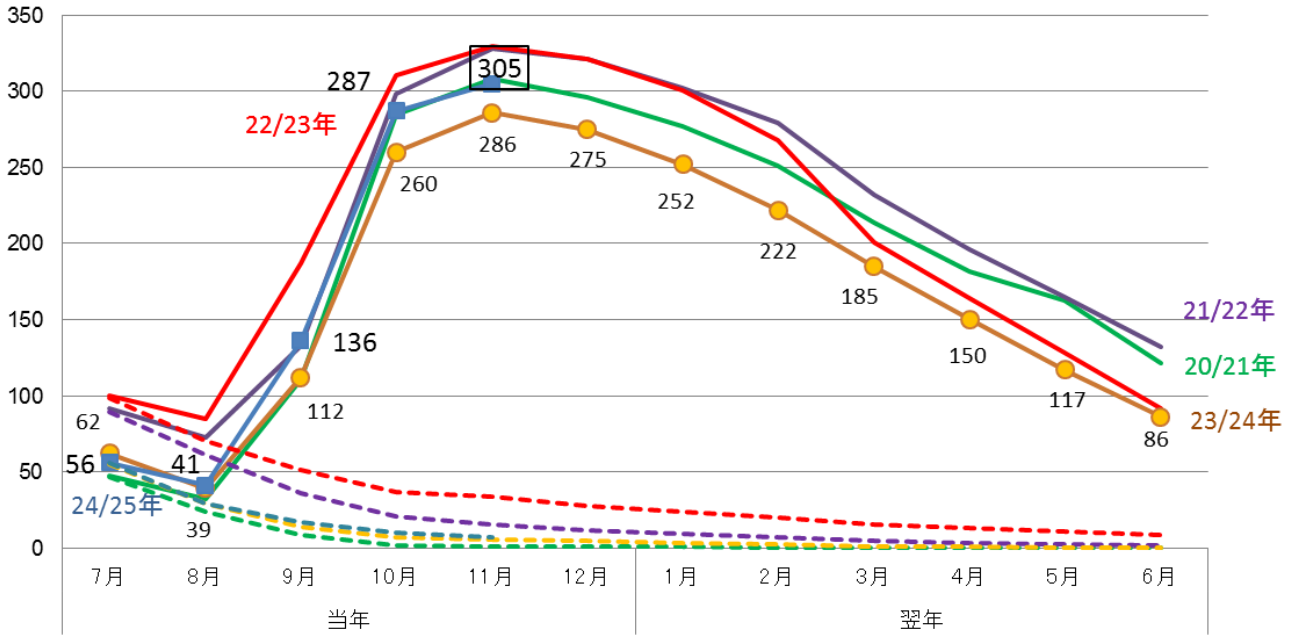
2：産地銘柄は、報告対象産地銘柄のうち、23年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のもの。

3：全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

(2) 民間在庫の推移

① 出荷段階

単位:万トン



注: グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷段階】

(単位:万トン)

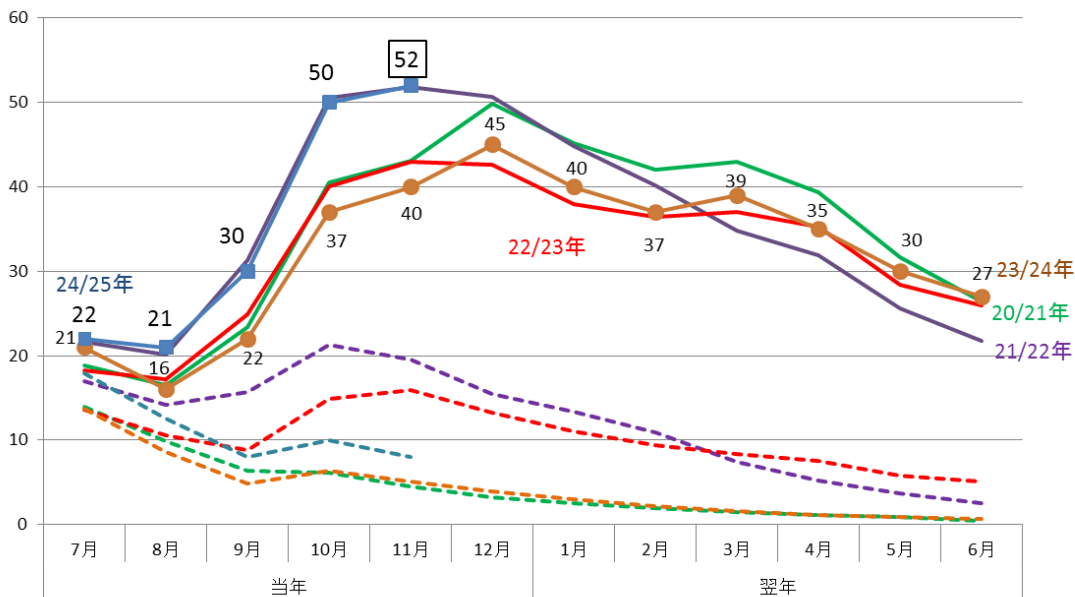
	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	47	32	111	285	308	296	277	251	214	182	163	121
1年古米	46	23	9	1	1	1	0	0	0	0	0	0
新米	1	8	101	281	305	293	275	249	212	181	162	121
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
1年古米	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
新米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	▲0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
1年古米	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
新米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
1年古米	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
新米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
24/25年	56	41	136	287	305							
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19							
1年古米	55	29	17	10	7							
新米	0	12	118	274	296							

資料: 農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」(~20年7月)、農林水産省「米穀の取引に関する報告徴収」(20年8月~)

- 注1: 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量(玄米換算)の値である。
 2: 米穀の出荷の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が500トン以上の者の値である。
 3: 期間については、23/24年であれば、23年7月~24年6月である。
 4: 22/23年7月末以降は、速報値である。
 5: 23年3月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。
 6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

② 販売段階

単位: 万トン



注: グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【販売段階】

(単位: 万トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	19	17	23	41	43	50	45	42	43	39	32	26
1年古米	14	10	6	6	5	3	3	2	1	1	1	0
新米	0	3	12	26	28	36	34	32	34	32	26	21
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	+3	+4	+8	+10	+9	+1	▲0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
1年古米	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
新米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
1年古米	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
新米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	+0	+2	+1
1年古米	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
新米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
24/25年	22	21	30	50	52							
対前年差	+1	+5	+8	+13	+12							
1年古米	18	13	8	10	8							
新米	0	4	17	32	35							

資料: 農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」(~20年7月)

農林水産省「米穀の取引に関する報告」(20年8月~)

注1: 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2: 米穀の販売の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が4,000トン以上の者の値である。

3: 期間については、23/24年であれば、23年7月~24年6月である。

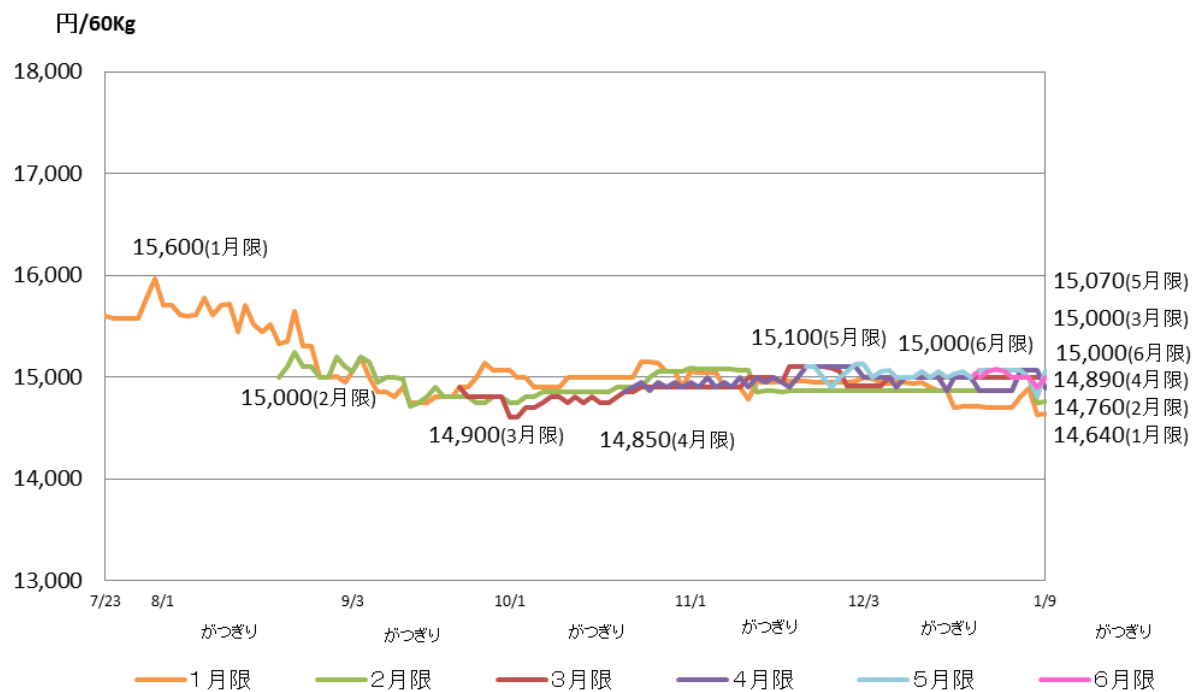
4: 22/23年7月以降の値は、速報値である。

5: 23年3月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。

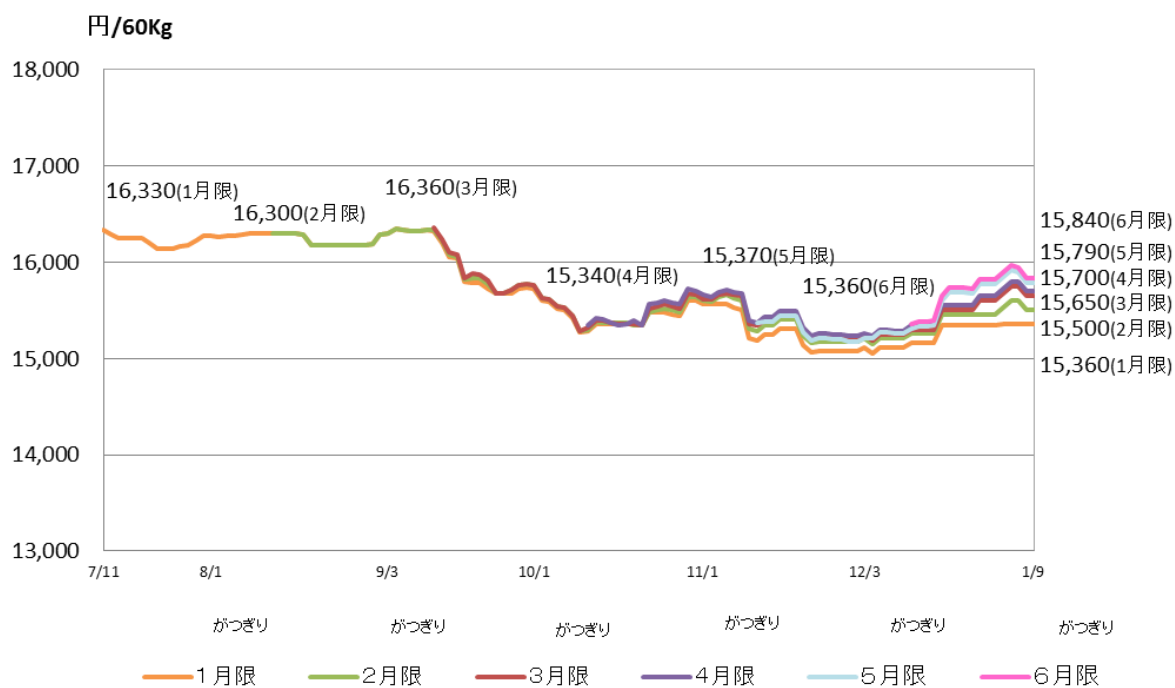
6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 米の先物取引価格の推移

①東京穀物商品取引所



②関西商品取引所



(4) 業者間取引の状況

① 日本コメ市場（随時取引の結果）

○ 価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

関東到着基準、1等、包装代込、税抜き、円/60kg

年産・産地銘柄		9月下旬	10月上旬	10月下旬	11月上旬	11月下旬	12月上旬	12月下旬
24年産	青森つがるロマン	-	15,116	-	-	-	-	-
24年産	秋田あきたこまち	16,331	16,309	15,976	16,119	16,113	16,233	-
24年産	宮城ひとめぼれ	-	-	16,045	15,800	-	16,285	-
24年産	福島中通りコシヒカリ	-	-	-	-	15,506	-	-
24年産	茨城コシヒカリ	15,847	-	-	16,060	-	-	15,900
24年産	栃木コシヒカリ	-	15,863	-	-	15,800	-	-
24年産	新潟コシヒカリ	-	-	17,108	-	17,395	-	-

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引である。

2：上記価格は、日本コメ市場株の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。

3：上期は、1日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。

4：「-」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）

（主たる銘柄の成約状況）

（単位：円/俵、トン）

年産・産地銘柄		平成24年度											
		第1回 5月10日		第2回 7月19日		第3回 8月23日		第4回 9月13日		第5回 10月18日		第6回 12月6日	
		成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量
23年産	宮城ひとめぼれ	-	-	18,793	33	18,206	26	-	-	-	-	-	-
23年産	秋田あきたこまち	18,949	91	18,810	43	18,200	24	-	-	-	-	-	-
23年産	山形はえぬき	18,640	48	-	-	17,842	61	-	-	-	-	-	-
23年産	福島会津コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	15,500	48	-	-	-	-
23年産	茨城コシヒカリ	18,189	78	16,930	79	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	栃木コシヒカリ	-	-	17,400	44	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	千葉コシヒカリ	18,225	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年産	新潟一般コシヒカリ	19,083	133	17,781	47	-	-	-	-	-	-	-	-
24年産	青森まっしぐら	-	-	-	-	-	-	-	-	15,271	23	15,600	48
24年産	宮城ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	-	-	15,854	157	-	-
24年産	秋田あきたこまち	-	-	-	-	-	-	16,334	122	15,964	52	16,160	30
24年産	福島あきたこまち	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15,525	96
24年産	茨城コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	15,510	60	15,667	52	15,575	41
24年産	茨城あきたこまち	-	-	-	-	15,900	36	-	-	-	-	-	-
24年産	千葉ふさおとめ	-	-	-	-	15,969	48	-	-	-	-	-	-
24年産	新潟一般コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	17,100	12	-	-
24年産	富山コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	16,754	53	-	-	16,970	48
成約米穀の平均価格(加重平均)		17,829	1,278	17,264	505	16,611	463	16,307	473	15,667	676	16,076	713

出典：日本コメ市場株式会社のHP

注1：取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。

2：価格は、1等、包装代(紙袋)含む関東着基準であり、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。

3：「-」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。

(5) (株)加工用米取引センターの取引結果

(単位:円/60kg)

取引日	年産、産地、銘柄	等級	成約数量(トン)	成約価格
平成24年9月3日	24年産千葉ふさおとめ(主食用)	1等	39.6	15,800
9月3日	24年産千葉ふさおとめ(主食用)	1等	39.6	15,700
9月6日	24年産三重コシヒカリ(主食用)	1等	13.2	16,500
9月14日	24年産富山コシヒカリ(主食用)	1等	10.8	17,050
9月24日	24年産福井ハナエチゼン(主食用)	1等	12.6	16,250
9月25日	24年産秋田あきたこまち(主食用)	1等	10.8	16,450
9月25日	24年産新潟コシヒカリ(岩船)(主食用)	1等	12.24	18,200
9月25日	24年産新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	12.24	18,200
9月26日	24年産北海道きらら397(主食用)(フレコン)	1等	21.42	15,350
9月26日	24年産北海道きらら397(主食用)	1等	10.2	15,670
9月28日	24年産山形はえぬき(主食用)	1等	12.96	15,600
9月28日	24年産新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	10.8	18,450
9月28日	24年産新潟コシヒカリ(魚沼)(主食用)	1等	10.8	23,150
9月28日	24年産新潟コシヒカリ(主食用)	1等	12	17,550
10月1日	24年産宮城ひとめぼれ(特裁米)(主食用)	1等	12.96	16,050
10月1日	24年産新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	12.24	18,350
10月9日	24年産山形はえぬき(主食用)	1等	12.96	15,600
10月9日	24年産新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	12.24	18,350
10月11日	24年産北海道きらら397(主食用)	1等	10.2	15,490
10月12日	24年産青森まっぐら(主食用)	1等	32.4	15,520
10月16日	24年産北海道きらら397(主食用)	1等	10.2	15,490
10月23日	24年産新潟コシヒカリ(主食用)	1等	5.4	17,450
11月2日	24年産山形はえぬき(主食用)	1等	12.96	15,600
11月9日	24年産佐賀ヒヨクモチ(主食用)	2等	13.2	14,050
11月12日	24年産熊本ヒヨクモチ(主食用)	2等	12	12,750
11月15日	24年産熊本ヒヨクモチ(主食用)	2等	12	12,650
11月20日	24年産富山コシヒカリ(主食用)	1等	85.92	16,700
11月21日	24年産新潟コシヒカリ(主食用)	1等	12	17,600
11月21日	24年産新潟コシヒカリ(魚沼)(主食用)	1等	10.8	23,150
11月22日	24年産千葉ふさがね(主食用)	1等	72	15,400
11月22日	24年産山形はえぬき(主食用)	1等	25.92	15,600
11月29日	24年産香川コシヒカリ(主食用)	2等	12.96	16,450
12月10日	24年産熊本ヒヨクモチ(主食用)	2等	10.8	12,950
12月13日	24年産岩手あきたこまち(主食用)	1等	24	16,000
12月17日	24年産新潟コシヒカリ(佐渡)(主食用)	1等	5.4	18,550

資料: (株)加工用米取引センターHP

注1: すべて玄米60kg当たりの価格(包装代込み、税抜き)。

注2: 商品形態は、玄米30kg紙袋である。ただし、売側・買側の合意があった場合には、フレコンも可とされている。

注3: 成約価格は、着地持込価格。